

令和5年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業評価結果

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	あきらめないで挑戦する自分になる！「自分を応援できる自分づくり」促進事業	100千円	学校教育課	a	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(300千円)	令和3年度(3年目)						
2	もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～	362千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	b	A
	射水まちづくりネットワーク、射水市民国際交流協会	(544千円)	令和3年度(2年目)※R3休止						
3	若い芽・こども音楽コンクール	560千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	a	A
	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	(955千円)	令和4年度(2年目)						
4	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物(特に両生類)の共生】を促進する事業	716千円	環境課	a	a	a	a	b	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(1,106千円)	令和4年度(2年目)						
5	イミズ そうめんのだす(出汁)	669千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	射水市世界一挑戦塾、しろえび未来企画有限責任事業組合、一般社団法人 金山里山の会	(1,019千円)	令和4年度(2年目)						
6	”IMIZU”ファン創出・拡大プロジェクト～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～	767千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	一般社団法人とやまのめ	(1,024千円)	令和5年度(1年目)						
7	ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築	785千円	環境課	a	a	b	a	a	A
	公立大学法人富山県立大学	(1,053千円)	令和5年度(1年目)						

令和5年度 射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業評価結果

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	地域振興会名	(総事業費)	開始年度(年数)	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業	200千円		a	a	a	a	b	A
	三ヶ地域振興会	(479千円)	令和3年度(3年目)						
2	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円		a	a	a	a	a	A
	三ヶ地域振興会	(300千円)	令和4年度(2年目)						
3	「作道の自慢」冊子発行事業	200千円		a	a	a	a	a	A
	作道地域振興会	(400千円)	令和4年度(2年目)						
4	みんなで考えよう！自主防災の必要性！	200千円		a	a	a	a	a	A
	放生津地域振興会	(245千円)	令和5年度(1年目)						
5	健康で長生き！いきいき広場	200千円		a	a	a	a	a	A
	新湊地域振興会	(318千円)	令和5年度(1年目)						
6	みんな集まれ七美こども神輿	200千円		a	a	a	a	a	A
	七美地域振興会	(300千円)	令和5年度(1年目)						
7	eスポーツによる地域活性化事業	200千円		a	a	b	a	a	A
	塚原地域振興会	(310千円)	令和5年度(1年目)						
8	学童バス停の花壇設置による笑顔いっぱい運動事業	200千円		a	a	a	a	b	A
	水戸田地域振興会	(246千円)	令和5年度(1年目)						

令和5年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業実施結果

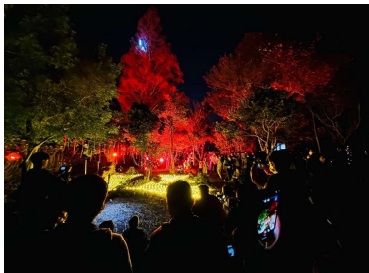
No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	あきらめないで挑戦する自分になる！ 「自分を応援できる自分づくり」促進事業	100千円	学校教育課	a	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(300千円)	令和3年度(3年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和6年6月14・22日、7月12・18日、9月4・11・21日、 10月16日、11月9・14・21日、12月12・19日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				611人					
事業概要				担当課としての所感					
新型コロナウイルスの感染拡大により、生活に対する不安や制約によるストレスを感じ、大人も子どもも心の安定が難しくなっている。本事業では、子どもたちにコーチングプログラムの授業を提供し、コロナ禍においても心の状態を安定させ、あきらめずに挑戦する自分づくりを促進する。				市内各小学校の児童に自己対話の機会を創出すると同時に、「自分を応援できる自分づくり」のスローガンのもとに自己肯定感や自己対話の大切さを学ばせかけになった。また、参加した児童からは多くのポジティブな感想が見られ、前向きに物事を思考する考え方を身に付ける良い機会となったと考える。					
担当課としての今後の対応									
協働事業自体は今年度で終了となるが、この3年間で養われた自己肯定感や自己対話の重要性について、引き続き各小学校において機会を捉えて啓発していきたい。また、R6年度からは別の公募提案型市民協働事業を実施する予定のため、引き続き担当課として学校との調整や書類の提出など円滑な事業の実施に努めたい。									

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～	362千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	b	A
	射水まちづくりネットワーク 射水市民国際交流協会	(544千円)	令和3年度(2年目) ※R3休止						
事業期間				令和5年4月1日～令和5年10月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年10月15日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約500人					
事業概要				担当課としての所感					
射水市は県内で最も外国人人口比が高い地域であるが、なかなか地域になじめない外国人が少なくない。 地域住民と外国人が交流し、相互理解を図るきっかけとして、文化交流ワークショップやワークショップの成果発表もかねたイベントを開催し、多くの市民が連携するまちづくりを進める。				昨年度から引き続き参加された団体に加え新規の参加団体もあり、2年目として事業の広がりがあったと感じる。 多文化共生イベントは異文化理解の契機であり、単発で終わらせずに継続されることで相互理解が進んでいくため、イベント後の交流方法についても計画していく必要がある。					
担当課としての今後の対応									
事業の計画段階から外国人住民の意見を取り入れること等を助言し、市の多文化共生キーパーソンを紹介するなど、新たな協力者や団体の参加を促していく。また、継続性のある事業となるよう共に検討していく。									

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	若い芽・こども音楽コンクール	560千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	a	A
	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	(955千円)	令和4年度(2年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和5年11月6日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年11月8日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				発表者73人 (ピアノ部門43人、歌唱部門30人)					
事業概要				担当課としての所感					
幼児期・学童期の子どもを対象とした音楽コンクールを開催し、入賞を目標とするコンクールに参加することで音楽への意欲・関心を高め、生涯にわたり音楽に親しんでいく機会を促進し、人材育成及び人材発掘に取り組む。				本コンクールは、子どもを対象としたものであり、70人の参加者を見込んでいたところ市内外から75名の参加申込があった(当日2名欠席)。コンクールの開催により、幼少期から音楽に触れる機会や日々の練習の成果を発表する場を提供した。また、音響に優れた小杉文化ホールを会場として使用することで、施設の魅力も発信した。 次年度の開催に向けては、今後自走してコンクールを開催することを念頭に、資金の確保方法等を検討する必要がある。					
担当課としての今後の対応									
広報やホームページなどで開催を周知し、市内教育機関への参加案内に協力した。 次年度(事業3年目)も引き続き協力しながらコンクールの開催を支援する。									

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物(特に両生類)の共生】を促進する事業	716千円	環境課	a	a	a	a	b	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(1,106千円)	令和4年度(2年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年4月29, 6月1日, 8月17日 含め48日間					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				550人					
事業概要				担当課としての所感					
里山地域が多い射水市において【人と野生動植物の共生】を図り、生物多様性・生態系の理念を啓発し、希少動植物・地域在来動植物・絶滅危惧種の保存を図るとともに過密化や高齢化の進行による里山の生物多様性の衰退を防ぎ地域の活性化を図る。				体色が白い希少なホクリクサンショウウオの発見、保護については特に評価すべきである。加えて、竹の伐採や植林などこれまで継続してきた地域環境の保全活動も評価できる。一方、自主財源の確保については難しいという見通しであり、現在の事業内容で利用可能な他の補助制度を見つけることが課題である。					
担当課としての今後の対応									
令和6年度は3年目として補助を継続する。令和7年度以降は県や国の他の補助事業などの利用の可能性を模索する。									

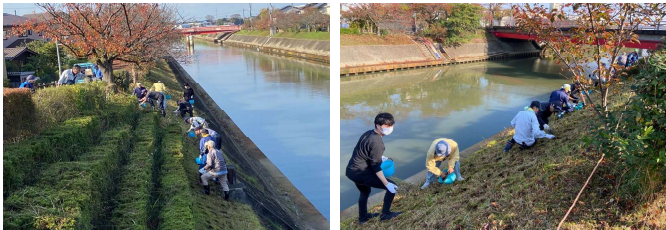
No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
5	イミズ そうめんのだす(出汁)	669千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	射水市世界一挑戦塾、しろえび未来企画有限責任事業組合、一般社団法人金山里山の会	(1,019千円)	令和4年度(2年目)						
事業期間				令和5年5月1日～令和5年8月11日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年8月11日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約800人					
事業概要				担当課としての所感					
新型コロナウイルス感染症により県内市内のイベントが減ってきている。 射水市の地の利を生かし、しろえびやシイタケを使用した新湊そうめんの出汁を再現するイベントを開催し、「地域の価値」の再構築に取り組む。また、子ども達が海と山の体験することで、射水市の魅力発見に取り組む。				射水市の豊かな自然を体感することで、子どもたちの地域愛の醸成に寄与している。次年度に向け、会場の利便性の観点から開催場所の検討が必要である。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、イベントの周知や当日業務等連携を図って実施する。									

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
6	"IMIZU"ファン創出・拡大プロジェクト～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～	767千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	一般社団法人とやまのめ	(1,024千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年7月15日～令和6年2月24日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年12月9日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約300人					
事業概要				担当課としての所感					
シンボルツリー点灯式のイベントを通して市内外から人を集め、地域住民との繋がりがりや交流を促すことで、交流関係人口の拡大を図るとともに、移住促進のきっかけをつくる。				イベント当日は、地域住民だけでなく、市外から多くの参加者が来訪し、老若男女を問わず、地域内外の人々の交流を図ることができた。また、イベントの準備段階から、学生や県内農家、Eスポーツ団体等との連携など、コミュニティ形成やネットワーク構築のきっかけづくりを通して、交流人口・関係人口の創出につなげた。今後は、本事業の継続に向けて、参加費をとるなど自己資金等の確保の点で改善を図っていく必要があると考える。					
担当課としての今後の対応									
地域の暮らしに興味がある県外在住者に向けて、情報発信・周知に加え、体験を通じた移住検討につなげられるよう団体と連携した取組を進める。									

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
7	ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築	785千円	環境課	a	a	b	a	a	A
	公立大学法人富山県立大学	(1,053千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年7月3日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年9月24日、10月15日、11月19日、12月17日、 令和6年1月21日、2月18日、3月17日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約300人（131組）					
事業概要				担当課としての所感					
教育には制服や学用品など、多くの費用がかかり、負担が大きくなっている一方で、使わなくなった制服等は、状態が良いまま廃棄物として扱われている。 小中学校の制服などの回収・引き渡しにより、子育て支援を行うことで、市内における社会福祉の充実を目指す。				・制服循環システムの構築は、ごみ減量化やリユースの促進に有効な取組である。 ・市が実施する環境イベントにおいて提案団体が実施する事業を共同開催することにより、制服循環の取組を多くの市民に知っていただくきっかけとなった。 ・事業の継続性を見据え、協賛金を募り事業資金を確保している点が特に評価できる。 ・ホームページの充実やSNSの活用を図るなど、更なるデジタル化の推進に努められたい。					
担当課としての今後の対応									
提案団体が実施する事業の共同開催及び周知等について、引き続き連携して取り組む。									

令和5年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施結果

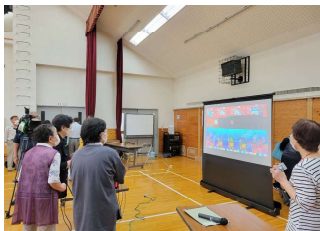
No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業	200千円	令和3年度(3年目)	a	a	a	a	b	A
	三ヶ地域振興会	(479千円)							
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年6月～令和6年3月の期間中月1回2時間の講座開催					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				50人					
事業概要				担当課としての所感					
地域の文化である獅子舞の復興・伝承に青年層の有志が取り組むことで、自らが地域文化の担い手であるという意識を醸成するとともに、若い世代が地域参加することによる地域活性化につなげる。				当初の目標であった「子獅子の復活」は達成できなかったが、講座や披露会には幅広い年齢層が集まり、獅子舞の魅力発信や獅子舞講座により、地域住民の地域参画意識を高めることができたと思われる。 事業持続性については、寄付金やサポーターの募集体制が整われたが、震災の影響もあり、あまり効果が見られなかった。しかしながら、事業継続に向け、クラウドファンディングなどの検討が進められており、今後の改善が期待される。 また、事業効果については昨年同様、地域内外の住民を呼び込むイベントとなり、三ヶ地域の魅力向上と文化保存につながるとと思われる。					
担当課としての今後の対応									
補助終了となり、事業持続のためには資金調達やサポーター募集の方法に見直しが必要と思われる。地域振興会では新たな出資策の検討等を進めている為、市としては、必要に応じて広報の援助やアドバイスを実施したい。									

No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円	令和4年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
	三ヶ地域振興会	(300千円)							
事業期間				令和5年4月1日～令和6年2月28日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年11月5日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				50人					
事業概要				担当課としての所感					
三ヶ地区の下条川沿いの更なる魅力向上を図るため、桜の開花時期に合わせて花が咲くよう、下条川の土手沿いにスイセンの植え込みと清掃活動を行う。				昨年同様、約50人の地域住民がスイセンの植え付け作業に参加するなど、地域ぐるみでの整備が進められていた。下条川の土手に2,000球のスイセンを植えたが、当初の計画のとおり桜が咲く時期に合わせて開花しており、地域の魅力向上につながった。 令和6年度も植え付け範囲を広げる計画となっており、地域の魅力向上に繋がっていくと考えられる。					
担当課としての今後の対応									
小杉地区の魅力発信に向けて、事業の周知協力を行っていく。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	「作道の自慢」冊子発行事業	200千円		a	a	a	a	a	A
	作道地域振興会	(400千円)	令和4年度(2年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日									
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数									
事業概要				担当課としての所感					
各地域における「自慢」を発掘、集約した冊子を作成することで、今まで注目されていなかったこと・物等に気付いてもらい、地域への関心を高め、活性化につなげていく。				住民の方々から自分の住んでいる地域の自慢を集めることで、住民自身が意外と知らない地域の歴史やものなどを知る良い機会となった。また、獅子舞文化や校下児童の活動について周知がされ、地域全体で児童の育成を見守る風土づくりや文化保存への関心向上の一助になったと思われる。					
担当課としての今後の対応									
今後も同様の活動がある場合は、周知やアドバイスを図っていく。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	みんなで考えよう！自主防災の必要性！	200千円		a	a	a	a	a	A
	放生津地域振興会	(245千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和5年10月29日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年7月8日，10月29日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				113人					
事業概要				担当課としての所感					
防災活動を通じて交流を深めるとともに、避難所運営等において女性の視点を取り入れやすくする環境づくりを促し、地域の自主防災意識を高めていく。				命のバトンや黄色いハンカチの全戸配布や地域の防災力の向上に効果的であったと思われる。 また、ワークショップや自主防災訓練等を通して、地域の防災リーダーの育成や、地域コミュニティの自助・共助の成長につながったと思われる。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、広報と事業のアドバイスを実施する。 他の地域でも効果がある事業と思われるため、事業報告の広報等により、他の地域への防災力向上にもつなげたい。				 					

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	みんなで考えよう！自主防災の必要性！	200千円		a	a	a	a	a	A
	放生津地域振興会	(245千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和5年10月29日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年7月8日、10月29日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				113人					
事業概要				担当課としての所感					
防災活動を通じて交流を深めるとともに、避難所運営等において女性の視点を取り入れやすくする環境づくりを促し、地域の自主防災意識を高めていく。				命のバトンや黄色いハンカチの全戸配布や地域の防災力の向上に効果的であったと思われる。 また、ワークショップや自主防災訓練等を通して、地域の防災リーダーの育成や、地域コミュニティの自助・共助の成長につながったと思われる。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、広報と事業のアドバイスを実施する。 他の地域でも効果がある事業と思われるため、事業報告の広報等により、他の地域への防災力向上にもつなげたい。				 					

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
5	健康で長生き！いきいき広場	200千円		a	a	a	a	b	A
	新湊地域振興会	(318千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月18日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年5月17日，10月29日，令和6年2月21日，3月10日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				599人(内イベント参加者214人)					
事業概要				担当課としての所感					
eスポーツを通して、ふれあい活動ができる場を提供し、笑顔あふれ健康で長生きの地域を目指す。 ～目的～ ①笑顔あふれる、活力と魅力ある地域づくり ②他地域からから見て、住みたくなる町づくり ③地域コミュニティの形成				自治会や各団体への機材貸出により、事業が周知され、多数の地域住民を巻き込んだイベントを実施できたと思われる。また、子供から高齢者まで広い世代のふれあいのツールとして、地域コミュニティの活性化・絆の高まりに効果があつたと考えられる。					
担当課としての今後の対応									
事業展開の相談があれば、アドバイスを実施する。 また、eスポーツを用いた健康増進・地域活性化は、地域提案型市民協働事業として初めてのテーマであつたため、今後の事業指針の参考としたい。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
6	みんな集まれ七美こども神輿	200千円		a	a	a	a	a	A
	七美地域振興会	(300千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年7月22日，8月19日，9月16日，11月3日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約1,200人					
事業概要				担当課としての所感					
子どもから高齢者までが、ふれあえる場を日常的に創り出す地域づくりを目指す。 ～目的～ ①幼年期の楽しい思い出作り、ふるさと醸成 ②地域コミュニティの形成。				事業を通して親子の触れ合いはもとより、幅広い世代が交流する機会となり、地域コミュニティの醸成ができたと思われる。また、地域や福祉施設の催しへの参加により、地域活性にもつながったと考えられる。今後は事業の組織づくりも予定され、新たな七美地域の定番事業への発展が期待される。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、広報の支援とアドバイスを実施する。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
7	eスポーツによる地域活性化事業	200千円		a	a	b	a	a	A
	塚原地域振興会	(310千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				毎週火曜日、金曜日、土曜日に小規模開催					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				児童生徒100人超、老人クラブ200人超					
事業概要				担当課としての所感					
少子高齢化により地域におけるつながりが希薄化していることが懸念されている中、eスポーツを通して世代を超えたコミュニケーションの場を実現し、地域活性化につなげていく。				本事業を通して、定期開催される高齢者のコミュニケーションの場ができた。また、児童館の児童とのふれあいのツールとしても活用され、地域コミュニティの醸成につながったと思われる。狭いコミュニティでの事業とならないよう、広報活動や事業内容を検討しており、今後の地域活性化が期待される。					
担当課としての今後の対応				 					
引き続き、広報と事業のアドバイスを実施する。高額な機材や備品の扱いが多くなるため、補助内容や計画を綿密に行う。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
8	学童バス停の花壇設置による笑顔いっぱい運動事業	200千円		a	a	a	a	b	A
	水戸田地域振興会	(246千円)	令和5年度(1年目)						
事業期間				令和5年4月1日～令和6年3月31日					
イベント等を開催した場合は、開催日				令和5年5月28日，9月20日，11月19日					
イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約60人					
事業概要				担当課としての所感					
地区内5か所の学童バス停に三世代で花壇を設置することで、子どもの情操教育を図るだけでなく、地域の交流を深めていく。				花植えや花壇の管理について、小学生や老人クラブが役割分担により、地域一丸で事業を実施することができた。また、花壇については来年度以降も継続性があり、町を明るくする新たなスポットが生まれたと思われる。					
担当課としての今後の対応									
引き続き、広報と事業のアドバイスを実施する。									

**令和5年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【提案団体用】**

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
Ⅰ 課題解決	① 地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	② 公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
Ⅱ 協働の効果 事業の効果	① 協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	② 市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	③ 事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	④ 事業対象者の満足度は高かったか。	
Ⅲ 事業の実現性・ 実施能力	① 計画どおりに事業を実施することができたか。	
	② 団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	③ 事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	④ 予算の執行状況は適正であったか。	
Ⅳ 先駆性・独自性	① 新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	② 独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
Ⅴ 自立性・持続性	① 自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	② 事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	Ⅰ 課題解決	Ⅱ 協働・事業の 効果	Ⅲ 実現性・実施 能力	Ⅳ 先駆性・独自 性	Ⅴ 自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (Ⅰ～Ⅴ)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

イベント等を開催した場合は実施日	
イベント等を開催した場合は延べ参加者数	

特記事項(特に工夫した点やアピールしたい成果、反省点等を自由に記載してください。)

◇ 評価結果について

事業開始年度が令和4年度(事業2年目)又は令和5年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「Ⅴ 自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。

**令和5年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【担当課用】**

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
Ⅰ 課題解決	① 地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	② 公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
Ⅱ 協働の効果 事業の効果	① 協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	② 市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	③ 事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	④ 事業対象者の満足度は高かったか。	
Ⅲ 事業の実現性・ 実施能力	① 計画どおりに事業を実施することができたか。	
	② 団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	③ 事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	④ 予算の執行状況は適正であったか。	
Ⅳ 先駆性・独自性	① 新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	② 独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
Ⅴ 自立性・持続性	① 自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	② 事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	Ⅰ 課題解決	Ⅱ 協働・事業の 効果	Ⅲ 実現性・実施 能力	Ⅳ 先駆性・独自 性	Ⅴ 自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (Ⅰ～Ⅴ)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

担当課の役割（事業を実施した中で、担当課が行った役割について記載してください。）

担当課としての所感（事業効果の具体的な内容や、特に評価すべき点、改善を求める点等を記載してください。）

担当課としての今後の対応（次年度以降の協働体制や、補助終了後の対応について記載してください。）

◇ 評価結果について

事業開始年度が令和4年度(事業2年目)又は令和5年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「Ⅴ 自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。